

令和7年4月吉日

新潟県内バスケットボール部 顧問

新潟県中学校体育連盟認定スポーツ団体 代表者 各位

新潟県中学校体育連盟バスケットボール専門部

部長 澁木 政義

(一財)新潟県バスケットボール協会 UI5 部会

部長 小林 和栄

大会運営取り決め事項について

日頃より、新潟県中学校体育連盟バスケットボール専門部の活動にご協力いただき、ありがとうございます。

さて、令和6年度8月に新潟県にて第45回北信越中学校総合競技大会が開催されました。大会初日に開催された代表者会議（北信越ブロック内専門委員長会議）で、大会運営に関してのブロック内での取り決め事項として確認した内容を下記にまとめましたので、共有させていただきます。令和7年度以降の中体連大会において下記取り決め事項に従い、運営して参ります。県内大会でも各地区大会からの運用させていただきますので、ご確認いただき、チーム関係者（指導スタッフ、選手、保護者）への周知を顧問の先生方やチーム責任者からお願いいたします。

記

1. ベンチ登録について

各校の校長先生は登録の有無にかかわらず、ベンチ入りすることができる。

2. 試合中に身につけるものについて

- ① 試合中のメガネの着用はできない。ゴーグルタイプのプラスチック製のものを着用する。
- ② 身体の一部（手の甲や掌等）へのメッセージ書き（マジック書き）は相手チームへのユニフォームへ付着する可能性があるため、行わない。
- ③ ブロック大会以上に参加する場合は、ソックスはチームで色だけでなく、メーカー、デザイン、長さを全て揃えることとする。（県内大会では、チームで同色であれば可。メーカーやデザイン等の統一は求めない。）
- ④ ユニフォームからはみ出さないものについては、チームで色を揃える必要がないが、ユニフォームパンツを折り曲げ、ユニフォームパンツの下からアンダーウエアが見える場合にはチームで色を揃える。

※その他、選手が競技中に身につけられるものについては、別途「(参考資料) 身につけられるもの」を参照ください。

3. 試合中の応援に関して

相手チームのフリースローの際、動きのある応援や声出しは控え、静粛にする。

以上。

プレイヤーが競技中に身につけられるものは、「2023バスケットボール競技規則 第4条4-4 その他の身につけるもの」に準ずるものとします。出場チームは、以下の項目をお読みいただき、競技中に着用可能なものと、不可なものを事前にしっかり確認してください。

★プレイヤーが競技中に身につけられるもの

色の指定あり

・マウスガード（無色透明）

色の指定なし

チームで色を揃える必要があるもの①

- ・腕のコンプレッションウェア
- ・脚のコンプレッションウェア
- ・ヘッドギア
- ・リストバンド（※1）
- ・ヘッドバンド（※1）
- ・サポーター類
- ・ヘアバンド
- ・手甲
- ・テーピング（※2）

チームで色を揃える必要がないもの

- ・十分にパッドで覆われている肩、上腕、大腿部や下腿部の防具
- ・膝の装具（※3）
- ・足首の装具（※3）
- ・眼鏡
- ・負傷した鼻のプロテクター

チームで色を揃える必要があるもの②

- ・ソックス

※チームで色を揃える必要があるもの①と②（ソックス）の色を揃える必要はありません。

（※1）最大10cmの幅で、繊維素材のもの。

（※2）当連盟主催・主管の大会においては、可能な範囲で揃えるものとします。

（※3）装具とは、骨折や術後の治療に必要となる固定や免荷装具のことで、病院で診察を受け、医師の処方のもとに製作し、一時的に使用されるものです。
スポーツショップなどで購入した市販サポーター類は含みません。

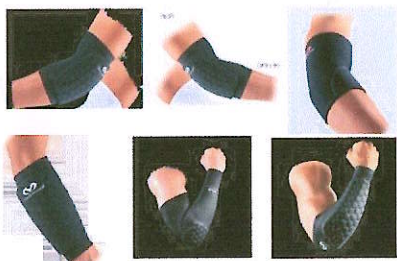
★ユニフォームやソックスからはみ出さないものに関しては、色を揃える必要はありません。

★プレー中に接触等でユニフォームの中に着用しているものが見えた場合、それははみ出したということにはならないので、他の身につけるものと色が揃っていないものを着用していても、注意することはありません。

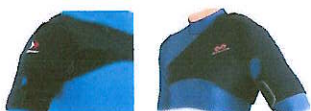
★プレーヤーが競技中に**身につけられる**ものについて(詳細)
※このページに掲載のものが全てではありません。

チームで色を揃える必要があるもの

・腕のコンプレッションウェア



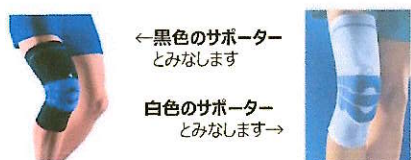
・肩のサポーター



・脚のコンプレッションウェア(パワータイツ)



・膝のサポーター



・指、手および手首のサポーター



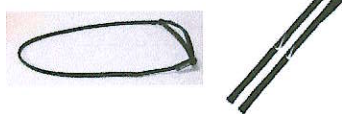
・手甲



・肘のサポーター



・ヘアバンド



・リストバンド

※最大10cmの幅で、繊維素材のもの



・ヘッドギア



・足首のサポーター



・大腿部のサポーター



・ヘッドバンド

※最大10cmの幅で、繊維素材のもの



・テーピング



※部分的に色の違う箇所を
覆う必要はありません。

当連盟主催・主管の大会
においては、可能な範囲
で揃えるものとします。

★プレーヤーが競技中に**身につけられる**ものについて(詳細)
※このページに掲載のものが全てではありません。

チームで色を揃える必要がないもの

・眼鏡



・鼻のプロテクター



・膝の装具



・足首の装具



装具とは、骨折や術後の治療に必要となる固定や免荷装具のことで、病院で診察を受け、医師の処方のもとに製作し、一時的に使用されるものです。

※スポーツショップなどで購入した市販のサポーター類は含みません。

★着用(例)



黒色の腕のコンプレッションウェア + 黒色の脚のコンプレッションウェア + 赤色のソックス
⇒ソックスは他の身につけるものと色を統一する必要はないので、赤色を着用しても問題ありません。



青色の膝のサポーター + 青色のヘッドギア + 黒色の足首の装具
⇒足首の装具は色を揃える必要はないので、黒色を着用しても問題ありません。



黒色の膝のサポーター + 青色のヘッドギア
⇒サポーターとヘッドギアは色を統一する必要があるものですので、どちらかの色に統一していただく必要があります。

★ユニフォームやソックスからはみ出さないものに関しては、色を揃える必要はありません。

★プレー中に接触等でユニフォームの中に着用しているものが見えた場合、それははみ出したということにはならないので、他の身につけるものと色が揃っていないものを着用していても、注意することはありません。

★プレーヤーが競技中に**身につけられない**ものについて(詳細)

※このページに掲載のものが全てではありません。

- ・ユニフォームのシャツからはみ出すシャツ状のもの



- ・無色透明以外のマウスピース（メーカーロゴ、番号・名前が入っているものも着用不可）



- ・点滅するライト、反射素材やその他装飾物が付いたシューズ



- ・ヘルメット



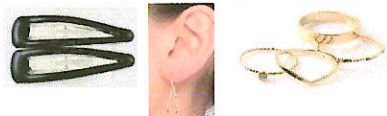
- ・スカーフスタイルのヘッドバンド（ハチマキ含む）



- ・商業的、宣伝的、チャリティー目的の名前やマーク、ロゴやその他特定できるもの



- ・ヘアアクセサリや貴金属類



- ・柔らかいパッドで覆われていても、指、手、手首、肘や前腕の防具



- ・固定具や支持具で、皮革、プラスチック、合成樹脂、金属、その他硬い素材でつくられているもの

- ・他のプレーヤーに切り傷やすり傷を与えるようなもの（爪は短く切っておくこと）

〈参考資料〉新ユニフォーム規則 運用変更箇所

第11条2項の別表2

	位置／数	サイズ	その他	例
チーム名	・シャツ前面に1箇所かつ2行以内 ・シャツの背面に1箇所かつ2行以内	・1行の場合、高さは「8cm」以内 ・2行の場合、高さは各行「6cm」以内		
チームロゴ	・シャツの前面に1箇所 ・パンツに1箇所	・1箇所あたり「20cm ² 」以内		
製造メーカーロゴ	・シャツ前面に1箇所 ・パンツに1箇所 ・1組のソックス	・1箇所あたり「20cm ² 」以内 ・半足に対して「50cm ² 」以内(ソックス)	・バスケットシューズを履いた状態で見えるソックスの模様や柄の面積も「50cm ² 」に含めること。(ソックス)	
都道府県・都市・地域名	・シャツ前面(選手番号の上部)に1箇所かつ2行以内 ・シャツ背面(選手番号の上部)に1箇所かつ2行以内	・1行の場合、高さは「8cm」以内 ・2行の場合、高さは各行「6cm」以内		TOKYO、Tokyo、東京、Nerima、NERIMA、練馬など
チームメンバー名	・シャツ背面に1箇所かつ1行のみ	・高さは「6cm」以上「8cm」以内	姓/名またはコートネームなど、表記の種類をチーム内で統一すること	Hasegawa、HASEGAWA、長谷川、Takashi、TAKASHIなど

ユニフォーム規則の第10条第1項のなお書きおよび第11条第2項の規定については、
2023年3月31日までが移行期間でした。
4月より完全実施となっています。ご確認ください。